

第67回国民体育大会冬季大会スキー競技会新潟県予選会 第90回全日本スキー選手権大会新潟県予選会 平成23年度新潟県スキー選手権大会 大会実施要項

1. 主催 (財)新潟県体育協会・新潟県教育委員会・(財)新潟県スキー連盟・妙高市
2. 主管 (財)新潟県スキー連盟上越協議会・妙高市・妙高市教育委員会・妙高高原スキー連盟
3. 支援 陸上自衛隊第二普通科連隊
4. 会期 平成24年1月19日(木)～23日(月)
5. 会場及び日程

ジャイアントスラローム	赤倉観光リゾートチャンピオンBコース
スラローム	赤倉観光リゾートチャンピオンBコース
クロスカントリー	赤倉観光リゾートクロスカントリーコース
ジャンプ	新潟県妙高高原赤倉ジャンツェ

ノルディック種目				アルペン種目			
期日	内容	時間	会場	期日	内容	時間	会場
1月20日(金)	[クロスカントリー] 開会式(選手会)	15:00	赤倉観光リゾート クロスカントリー コース	1月19日(木)	開会式(選手会)	16:00	赤倉体育 センター
	1月20日(金)			スラローム 表彰式(ゴールエリア)	10:00	チャンピオン Bコース	
1月21日(土)	[ジャンプ] 開会式・TCM	9:00	妙高高原 赤倉ジャンツェ	1月21日(土)	ジャイアントスラローム 表彰式(ゴールエリア)	9:30	
	[クロスカントリー] (クラシカル) 男子 10K・5K 女子 5K 表彰式			10:00 11:00	赤倉観光リゾート クロスカントリー コース		
1月22日(日)	[ジャンプ] スペシャル コンバインド 閉会式	9:00	妙高高原 赤倉ジャンツェ	(注意事項:ふるさと選手制度) 成年種別に参加する選手で『ふるさと選手制度』を利用 する者は、新潟県体育協会のホームページ(URL http://www.Japan-sports.or.jp/niigataken/)にあるコンテンツ 「国民体育大会」から関係する様式をダウンロードし必要 事項をご記入のうえ、大会事務局に提出してください。 【提出期限:1月5日(木)】 尚、初めて登録される方と登録更新される方では様式 が異なりますのでご注意ください。 様式1-A ふるさと登録届 初めて利用しようとする選手用 様式1-B ふるさと選手制度使用申請届 連続して利用しようとする選手用			
	女子リレー(5K×3人) 男子リレー(10K×4人) 表彰式	10:00 11:00 12:00	赤倉観光リゾート クロスカントリー コース				
	[コンバインドクロス] フリー 10K・5K 表彰式	14:00	赤倉観光リゾート クロスカントリー コース				
1月23日(月)	(フリー) 男子50K(30K・15K) 女子30K(10K) 閉会式	9:30 9:40 15:00	赤倉観光リゾート クロスカントリー コース				
	国体選手選考会	13:00	池の平公民館				

6. 競技種目及び種別(個人種目)

組別	種目 テクニック	5K		10K		15K		30K		50K		リレー	ノルディック コンバインド	ジャンプ	ジャイアント スラローム	スラローム
		クラシカル	クラシカル	フリー	クラシカル	フリー	フリー	フリー								
男子	成年	A	○	○	△	△	△	○	○	○	CCFF	10K○ 5K○	○	○	○	○ 注)1
		B	○	○	△	△	△	○	○							
	C	○	○	△	△	△	○	○								
	少年		○	○	△	△	△	○	○		10K○	○	○	○		
女子	成年	A	○	○	△	△	△	○	○	CFF	△	○	○	○	○ 注)1	
		B	○	○	△	△	△	○	○							
	C	○	○	△	△	△	○	○								
	少年		○	○	△	△	△	○	○		○	○	○	○		

※ ノルディックコンバインドの少年男子・成年男子Aは10Kとし、成年男子Bは5Kとする。

7. 参加資格及び制限

- (1) 競技者は新潟県スキー連盟の団体所属員で、会員登録を完了した競技者、並びに本県居住者であって別に定める会員外特別参加料を納入した者に限る。
この大会期間中に日本代表選手として大会や海外派遣等で参加できない者は国体参加特例Ⅱ-1により出場できる。日本代表選手とは全日本スキー連盟が指定した選手であり、全日本スキー連盟競技本部長名で送付した「海外遠征等に派遣する選手名簿並びに派遣要項」による。この場合は予選を免除する。但し、派遣期間前後3日間までを対象とする。但し、事前に県連競技本部長の承認を必要とする。
中学生(3年生)は全種目共、各部の推薦により少年の部に参加することができる。
国体の監督及び選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は下記のとおりとする。
- (2) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、監督及び選手のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、成年又は少年の種別に参加することができる。

(ア) 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、永住者。(本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者を含む)

(イ) 学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒。ただし、

a 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生及び家族滞在(中学3年生)については、大会実施要綱が定める参加申込締切時に1年以上在籍していること。

b 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、留学生については参加できない。

(ウ) 参加しようとする当該年以前に前号(イ)の規定に該当していた者。

イ 選手及び監督は、所属都道府県のスキー連盟会長及び体育協会会長が代表として認め選抜した者であること。

ウ 第65回又は第66回大会(都道府県大会等を含む。)において、選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き、第65回又は第66回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 平成22年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c ふるさと選手制度を活用する者(別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。)

(イ) 少年種別

a 平成22年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c 一家転住等に係る者(別記2「一家転住等に伴う特別措置」による)

エ 選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 前記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 参加選手は、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り、参加できる。

(イ) 回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

(ウ) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(エ) 都道府県大会等に参加し、これを通過した者であること。

(オ) リレーにおいては、単一大学又は実質的に単一大学の学生によって構成されるチームは参加できない。ただし、適正な予選方法により、結果として単一大学の者が選出された場合はこの限りではない。

(カ) ドーピング・コントロール検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

(3) 所属都道府県

所属都道府県は、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと(別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。)

イ 少年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 学校教育法第1条に規定する学校の所在地

(ウ) 勤務地

※ 上記に属する都道府県のうち、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」のいずれかから参加する場合は、平成23年4月30日以前から大会参加時まで引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

・成年種別の選手が属する都道府県として「ふるさと」を選択する場合

・少年種別の選手が「一家転住等」した場合

(4) 選手の年齢基準

ア 成年男子

(ア) A(18歳以上26歳未満)

昭和60年4月2日以降 平成4年4月1日以前に生まれた者

(イ) B(26歳以上34歳未満)

昭和52年4月2日以降 昭和59年4月1日以前に生まれた者

(ウ) C(34歳以上)

昭和52年4月1日以前に生まれた者

ただし、スペシャルジャンプ及びコンバインドについては、成年男子Aは27歳未満とし、Bは27歳以上とする。

イ 成年女子

(ア) A(18歳以上24歳未満)

昭和62年4月2日以降 平成5年4月1日以前に生まれた者

(イ) B(24歳以上)

昭和62年4月1日以前に生まれた者

ウ 少年男子及び少年女子

平成5年4月2日以降に生まれた者とする。

ただし、中学生は3年生のみ参加できる。

(5) 参加資格及び年齢基準等に疑義のあるときは、(財)日本体育協会、(財)全日本スキー連盟並びに組織委員会が調査・審議のうえ、(財)日本体育協会がその可否を決定する。

別記1【国民体育大会ふるさと選手制度】

1 成年種別に出場する選手は、開催基準要綱細則第3項〔本則第8項第1号及び第10項第4号(参加資格及び年齢基準等)〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

(1) 居住地を示す現住所

(2) 勤務地

(3) ふるさと

- 2 「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。
- 3 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。
なお、一度登録した「ふるさと」は、変更できないものとする。
- 4 「ふるさと」から参加する選手は、開催基準要綱細則第3項-(1)-(1)-③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。
- 5 「ふるさと選手制度」の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 6 参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要綱で定めた参加申込み締切り期日までに、(財)日本体育協会宛に提出する。

別記2【「一家転住等」に伴う特例措置】

〔転校への特例〕

次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限(開催基準要綱細則第3項-(1)-(1)-③)に抵触しないものとする。

- (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由にかぎることとする。
 - (3) 「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - 1) 親の転勤による一家の転居
 - 2) 親の結婚、離婚による一家の転居
 - 3) 上記以外に、やむを得ない理由による、家の転居
 - (4) 転居先の都道府県予選会締切り日以前に、次の手続きを終了していること。
 - 1) 別に定める様式により、属していた都道府県体育協会会長及び都道府県スキー連盟会長の承認を得ること。
 - 2) 承認を得た書類については、転居先が属する都道府県体育協会及び都道府県スキー連盟へ提出すること。
8. 競技規則 (財)全日本スキー連盟競技規則最新版に準ずる。
- (1) ジャイアントスラロームに出場する者は、クラッシュヘルメットを着用すること。着用しない場合は出発させない。
 - (2) 男子クラシカル5K、10Kの2種目出場者の5Kの成績は、10Kの途中計時をもって成績とする。
男子フリー15K、30K、50Kの3種目出場者の15K、30Kの成績は50Kの途中計時をもって成績とする。
女子フリー10K、30Kの2種目出場者の10Kの成績は、30Kの途中計時をもって成績とする。
 - (3) 全日本選手権大会(クロスカンтриー)種目の予選の方法については、選手会で連絡する。
9. 参加料 日体協国体参加者強制保険料を含む
個人は男子、女子とも一人4,500円、高校生3,500円(中学生も高校生に準ずる)国体予選のみ会員外特別参加料は6,500円とする。リレーは1チーム3,000円とする。参加料は申し込みと同時に大会事務局へ納入のこと。
※アルペン種目スラロームは、全日本スキー連盟B級公認ポイントレースを兼ねる為、B級大会に参加を希望する選手は、別途参加料が必要になります。尚、詳細については、別紙B級大会要項を参照ください。
10. 表彰 各種目、各組とも6位まで表彰する。ただし、50K競技は10位まで表彰する。女子30K競技は、10位まで表彰する。
中学生はすべて少年組として表彰する。(表彰種目は下記表のとおり)

	男子表彰種目	表 彰	女子表彰種目	表 彰
ク ロ ス カ ン ト リ ー	成年男子A 10Kクラシカル	1~6位	成年女子A 5Kクラシカル	1~6位
	成年男子B 10Kクラシカル	1~6位	成年女子B 5Kクラシカル	1~6位
	成年男子C 5Kクラシカル	1~6位	少年女子 5Kクラシカル	1~6位
	少年男子 10Kクラシカル	1~6位	女 子 10Kフリー	1~6位
	男 子 15Kフリー	1~6位	女 子 30Kフリー	1~6位
	男 子 30Kフリー	1~6位	女 子 リレー	1~6位
	男 子 50Kフリー	1~10位		
1	男 子 リレー	1~6位		

	男子表彰種目	表 彰	女子表彰種目	表 彰
ア ル ペ ン	成年男子A GSL	1~6位	成年女子A GSL	1~6位
	成年男子B GSL	1~6位	成年女子B GSL	1~6位
	成年男子C GSL	1~6位	少年女子 GSL	1~6位
	少年男子 GSL	1~6位	女 子 SL	1~6位
	男 子 SL	1~6位	女 子 SG	1~6位
	男 子 SG	1~6位		

	男子表彰種目	表 彰
ジ ャ ン プ	成年男子A Nコンバインド	1~6位
	成年男子B Nコンバインド	1~6位
	少年男子 Nコンバインド	1~6位
	成年男子A Sジャンプ	1~6位
	成年男子B Sジャンプ	1~6位
	少年男子 Sジャンプ	1~6位

11. 参加申込

(1) 参加申込みについては、下記のとおりとする。

(ア) 期 日 平成24年1月5日(火) 15時 必着

(イ) 場 所 〒949-2106 新潟県妙高市大字田口33

妙高高原メッセ内 新潟県スキー選手権大会事務局

(TEL 0255-86-3977 FAX 0255-86-5166)

※ただし、電話、FAXによる申込みは受け付けない。

(ウ) 様 式 各団体ごとに参加申込み一覧表(様式5~7)、ジャンプ・コンバインド種目にあつては個票(様式2~4)、アルペン種目にあつては個票(様式1)に記入する。生年月日を明記し、年齢算定を正確にするほか、用紙は「スキーにいがた」に添付してあるものを使用すること。(用紙サイズ厳守のこと)

(2) アルペン種目に参加する者は、個票にポイントNo、ポイントを3種目とも記入のこと。ポイントが無い者は「なし」と記入する。
登録Noとポイント記入の無い場合はポイントなしで抽選する。県連強化指定選手には、特別シードを採用することがある。

(3) 選手の健康管理は参加チームが責任をもつこと。

(4) 全日本スキー選手権大会出場希望者は、各種目毎に、申込書に希望の有無を記入すること。
予選通過者は、成績発表後ただちに参加料を添えて県スキー連盟各部担当者に申込むこと。

全日本出場者の年齢算定の基準は平成23年12月30日現在とする

ただしアルペン種目にあっては、ポイントによる全日本出場資格がない場合、アルペン部の推薦による

12. 抽 選 アルペン及びジャンプ競技は平成24年1月6日（金）クロカン競技は平成24年1月13日（金）ともに午後1時より
妙高高原メッセにて行う。

- (1) クロスカントリーの抽選は各種目とも成年はSAJ、少年はNSAポイントによりグループ分けを行う。グループ数は参加人数により決める。グループ内スタート順は抽選により決める。SAJ・NSAポイント未登録者及びポイント無しは第1グループとする。
(2) アルペン種目の抽選はSAJポイント所有者（350点以内）を第1ランク、ポイント無しを第2ランク、未登録者を第3ランクとして行う。

13. 注意事項

- (1) (財) スポーツ安全協会のスポーツ安全保険または一般のスポーツ傷害保険に加入すること。
(2) 国体の種別（部）種目及び参加人数
補欠は認めない。ただし、リレーのエントリーは男子6名（走者4名）、女子6名（走者4名）とし、各種別（部）でノルディック種目にエントリーした選手のみで構成する。

	成 年 男 子			少年男子	成 年 女 子		少年女子
	A	B	C		A	B	
ジャイアントスラローム	3	3	3	6	3	2	4
スペシャルジャンプ	3	3		6			
コンバインド	3	3		6			
クロスカントリー10K	3	3		6			
クロスカントリー 5K			3		3	2	4
リレー	6名（4名×10km）			同左	6名（4名×5km）		

14. 備 考

- (1) 第65回国体冬季スキー競技会出場選手は競技終了後の選考委員会において決定する。

(2) 選考委員会

期 日 平成24年1月22日（月）

場 所 妙高市 妙高高原メッセ

※県連三役、常務理事及びクロスカントリー一部、ジャンプ部、アルペン部各代表2名は出席すること。

予選の結果、各組上位入賞者より定数の半分は無条件（2名枠は優勝者）とし、残数は高校予選等も参考にして決める。

したがって、各部長の責任において選考資料を作成し、競技翌朝提出のこと。ただし、レベルの低い選手層があった場合は定数減もあり得る。

- (3) 大会事務局 〒949-2106 新潟県妙高市田口33番地
妙高高原メッセ内 新潟県スキー選手権大会事務局
(TEL 0255-86-3977/0255-86-5166)

15. 宿泊について

- (1) 宿泊希望者は、所定の用紙（様式8）で人員、到着日、宿泊日数を明記のうえ大会事務局へ申し込むこと。

※ただし、電話、FAXによる申込みは受け付けない。

希望旅館がある場合はその旨を申込の際に記入すること。ただし、1宿舍1チームを原則とするので、希望に添えない場合がある。

(2) 宿泊料

一泊二食付き7,350円 昼食（別注）700円 様式8で申し込む。